

復していたが、3月の東日本大震災以降は低迷が続き、12月は過去5年間で最もアクセス数が低くなった（図21）。

携帯電話版サイトページ別のアクセス数では、2011年で一番閲覧数の多かったのは「検査施設を探す」ページであり、「HIV検査Q&A」ページもアクセス数が多かった（図22）。

近年、携帯電話からスマートフォンへの乗り換えが進んでおり、当サイトではスマートフォンからのアクセスはPC版サイトに接続するようになってきているため、その影響について解析した。その結果、スマートフォンからPC版サイトの訪問数の割合は2010年は7.2%であったのに対し、2011年は22.9%となっていた（図23）。

D. 考察

本研究班では、2009年10月にPC版サイトおよび携帯電話版サイトのリニューアルを行った。その結果、旧サイトの検索機能の利便性を最大限引き継ぎつつ、掲載情報の内容の充実を図ることができた。また、これまで未掲載であった自治体の保健所等HIV検査情報の新規掲載が完了し、これにより全国自治体のHIV検査情報の提供が可能となった。また、検査イベント情報の掲載については、依頼件数が2011年は2010年の2.2倍増となり、自治体担当者に検査イベント情報を広報できるサイトであると認知されるとともに、全国自治体で行われている不定期の検査情報を一元的に提供可能な唯一のサイトとして、十分な役割を果たしていると考えられる。

PC版サイトの年間アクセス数は、2009年は63万件、2010年は61万件、2011年は62万件とほぼ横ばいであり、最もアクセス数の多かった2007年、2008年と比較すると約3割の減少となった。2009年以降、減少に転じた要因としては、2009年5月の新型インフルエンザ流行によるHIV/エイズ情報への関心の低下、2009年のリニューアルの際に一定期間情報更新を停

止したことによる影響、さらに2011年3月に起きた東日本大震災の影響があったものと思われる。

日別トップページアクセス数を見たところ、3,000件を超えた日は、2008年では37日あったが、2009年、2010年はともに7日、2011年は8日であり、本年も顕著な増加は見られなかった。ただ、エイズ動向委員会報告（2月、5月、9月）や世界エイズデーの報道ではアクセス数増加が見られることから、HIV/エイズについて世論の関心を引く重要な報道となっていると思われる。

検索条件別アクセス数では、「即日検査」が最も多く、次いで「土日検査」、「その他性感感染症検査」、「予約不要」と続いており、傾向は2010年と変わらなかった。閲覧者は即日検査の希望者が多く、また、HIV以外の性感感染症検査についても要望が多いことが示唆された。アクセス数はほとんどの条件で減少していた。また、地域別アクセス数では、東京都が圧倒的に多く、次いで大阪、神奈川と大都市がほとんどであり、前年の上位10県と入れ替わりはなかった。ただ、アクセス数は福岡県以外の県ですべて減少していた。トップページアクセス数は前年とほぼ同数であるのに、検索条件別や地域別アクセス数が減少しているということは、検査イベント情報やHIV Q&A等の通常のHIV検査情報以外の閲覧が増加しているものと考えられた。

お問い合わせフォームからの問い合わせ内容としては、受検した検査所の不安や苦情、HIV検査を受けるにあたっての質問、感染リスクからの検査時期に関する質問が多い。検査所の苦情に関しては、極力、検査機関にフィードバックしている。また基本的な質問に関しては、HIV Q&Aに反映させていきたいと考える。

携帯電話版サイトの2011年の年間アクセス数は35万件であり、比較可能な2010年6-12月と比べると26%減、最もアクセス数が多かつ

た2008年と比べると38%減となっていた。月別アクセス数でも3月以降は低迷が続き、12月は過去5年間で最もアクセス数が低くなっており、東日本大震災の影響を受けたものと思われた。また、近年、携帯電話からスマートフォンへの乗り換えが進んでおり、スマートフォンの所有率は、2010年9月には9.0%であったのに対し、2011年4月には14.8%、2011年9月には22.9%と、急速に拡大しているとの報告がある*。当サイトではスマートフォンからのアクセスはPC版サイトに接続するようになってきていることから、その影響について解析したところ、スマートフォンからPC版サイトの訪問数の割合は2010年は7.2%であったのに対し、2011年は22.9%となっており、スマートフォン所有率と同傾向を示した。このことから、本年度のPCサイトのトップページアクセス数の約23%はスマートフォンからのアクセスと考えられ、実質PCからのアクセスは前年度よりも減少していると思われた。また、携帯電話版サイトのアクセス数の減少はスマートフォンの普及による影響も大きいことが示唆された。今後、スマートフォンの普及はさらに進むと思われ、若年者の所有率が高いことが示されていることから*、スマートフォン版サイトを作成する必要性について検討していきたいと考える。

PC版サイトは約10年間の総アクセス数が667万件に達した。今後もHIV検査情報、HIV検査に関する正しい知識等、継続して有益な情報を検査希望者に提供できるように努力していきたい。

*参考 Web サイト

IMPRESS INNOVATION LAB.

<http://i.impressrd.jp/e/2011/11/24/1174>

マスコミ等での紹介

<2011 (H23) 年度>

【ラジオ、Web サイトでの紹介】

「愛です！エデュケーション・キャンペーン」
世界エイズデーイベント

愛です！実行委員会（厚生労働省、東京都、渋谷区、エイズ予防財団、TOKYO FM）

（サイトアドレス紹介）

【情報誌】

は一もにっしん 第8号

日進市市民生活部市民協働課

（サイトアドレス紹介）

<2010 (H22) 年度>

【インターネットサイト】

* 「夏の終わり、保健所で「HIV 検査」を体験してきた」 web R25 2010. 8. 30

（サイトアドレス紹介）

【マニュアル・リーフレット】

* 知ってる？

平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染予防個別施策層における予防情報アクセスに関する研究」班

（サイトアドレス紹介）

<2009 (H21) 年度>

【書籍】

* 「結核を防ぐ、治す」森 亨監修

講談社健康ライブラリー イラスト版 P41

（即日検査紹介、サイトアドレス紹介）

* 「学生生活 GUIDE」野毛印刷社 P28

（サイトアドレス紹介）

【インターネットサイト】

* 「au one 健康」エイズ予防月間特集

au 携帯電話ポータルサイト

（サイトアドレス紹介）

【マニュアル・リーフレット】

* HIV 抗体検査マニュアル、患者用チラシ

新潟大学医師額総合病院感染管理部

（サイトアドレス紹介）

（※マスコミ等での紹介は研究班で把握しているもののみ記載してあります。）

E. 研究発表

論文発表

1. Takako Shima-Sano, Rika Yamada, Kazuyo Sekita, Raleigh W. Hankins, Hiromasa Hori, Hiroshi Seto, Koji Sudo, Makiko Kondo, Kazuo Kawahara, Yuki Tsukahara, Noriyuki Inaba, Shingo Kato, and Mitsunobu Imai. (2010) A Human Immunodeficiency Virus Screening Algorithm to Address the High Rate of False-Positive Results in Pregnant Women in Japan. PLoS ONE 5(2): e9382.
2. 佐野（嶋）貴子, 山田里佳, 谷口晴記, 近藤真規子, 今井光信, 塚原優己: 妊娠と HIV 感染. 臨床検査. 53(4):467-471, 2009.
3. 佐野（嶋）貴子: 保健所等 HIV 検査機関における HIV 即日検査の試みとその効果の検証およびホームページ「HIV 検査・相談マップ」による HIV 検査の最新情報の提供. 日本エイズ学会誌. 11(3): 223-230, 2009.

学会発表

1. 佐野貴子, 近藤真規子, 須藤弘二, 根岸昌功, 山中 晃, 井戸田一朗, 今井光信, 加藤真吾: HIV 迅速検査試薬の検討および即日検査への応用. 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 23 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京)
2. 佐野貴子, 西大條文一, 井戸田一朗, 須藤弘二, 加藤真吾, 近藤真規子, 今井光信: 抗 HIV 抗体量により感染時期を推測するための検査法の検討. 第 23 回日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 21 年 11 月 26 日-28 日, 名古屋)

図1 ホームページ「HIV検査・相談マップ」リニューアル
(PCサイト 2009年10月)

<旧サイト>

<新サイト>

図2 ホームページ「HIV検査・相談マップ」リニューアル
(PCサイト 研究班・研究員 紹介ページ)

HIV検査相談マップ

全国HIV/エイズ検査・相談窓口情報サイト

情報更新履歴・検査・相談担当者の方へ
ご挨拶・お問い合わせ

◆ 研究班のご紹介

このページでは、当サイトを運営する、厚生労働科学研究補助金エイズ対策研究事業「HIV検査・相談に関する研究」の紹介をいたします。

研究内容の紹介

当研究班は、厚生労働省の委託によるHIV検査・相談に関する研究を実施し、その成果を活用することにより、HIV感染の早期発見と治療の促進を図ります。以下の3つの研究を行います。

- (1) HIV検査・相談に関する検査や手法を取り入れてその利便性を高めることにより、受検者の増加を図る。
- (2) 検査・相談に関するHIV検査・相談に関する研究の成果を積極的に活用することにより、感染の早期発見を図る。
- (3) 新たなHIVの検査法の開発、導入、普及により、検査技術の向上を図るための研究

具体的には、上記の3つの研究に関連する以下の項目の研究を実施しております。

- (1) HIV検査・相談に関する検査や手法を取り入れるための研究
- (2) HIV検査・相談に関するHIV検査・相談に関する研究の成果を積極的に活用するための研究
- (3) 民間クリニックにおけるHIV検査・相談の充実を図るための研究
- (4) HIV検査・相談に関する他の感染症の検査と相談に関する研究

研究員のご紹介

研究代表者	
加藤 真吾	<p>所属 東京義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室</p> <p>担当研究課題 研究全体の推進と統括</p> <p>研究員としてのこと この研究班の活動を通してハードとソフトの両面からHIV検査・相談の体制を充実させ、HIV感染者の早期診断、早期治療、早期アプアを促すことにより、我が国における新規感染者の減少に寄与したいと考えています。</p> <p>研究業績 参考文献を見る</p>
研究分担者	
今井 光信	<p>所属 田舎調布大学大学院 人間福祉学部</p> <p>担当研究課題 保健所等における検査・相談の利便性の向上</p> <p>研究員としてのこと 民間クリニックにおける迅速検査や検査結果の活用も促進したいと考えています。</p> <p>研究業績</p>
武部 豊	<p>所属 国立感染症研究所 エイズ研究センター 第一室</p> <p>担当研究課題 分子疫学に付いた検査・相談体制の検討</p>

HIV検査・相談マップ

HIV検査のまめ知識

電話相談窓口

図3 ホームページ「HIV検査・相談マップ」リニューアル
(携帯サイト 2009年10月)

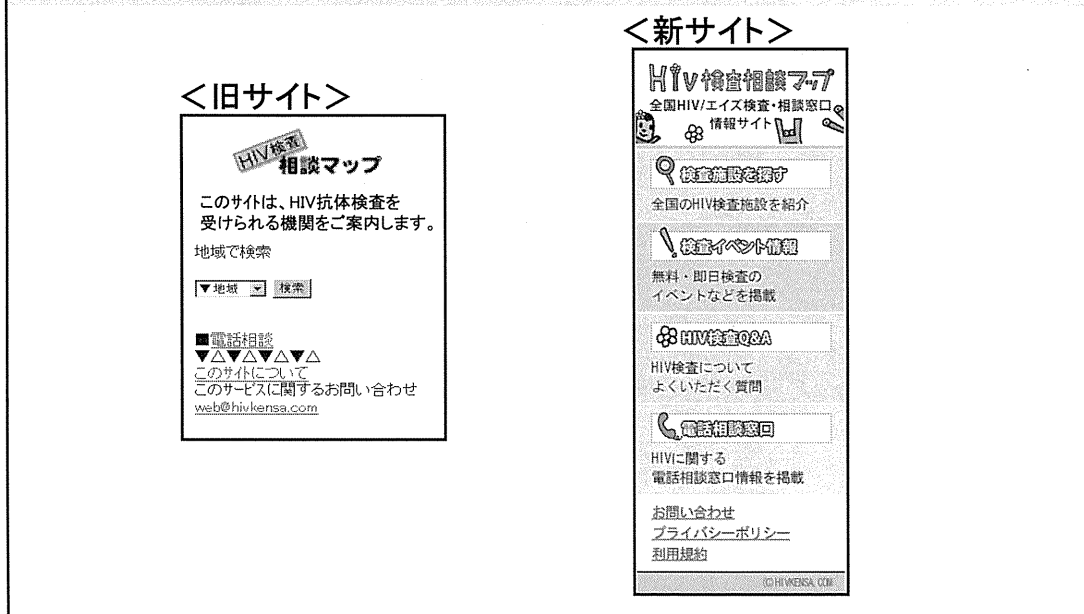


図4 ホームページ「HIV検査・相談マップ」
修正・追加箇所 (2010年)

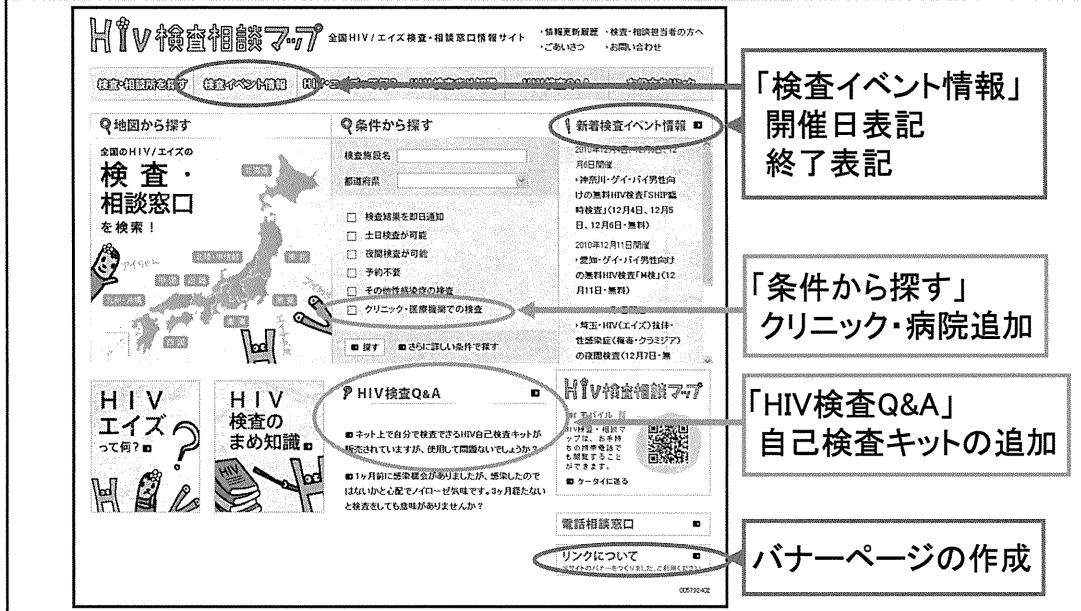


図5

ホームページ「HIV検査・相談マップ」 「HIV検査Q&A」にHIV自己検査キットの設問の追加

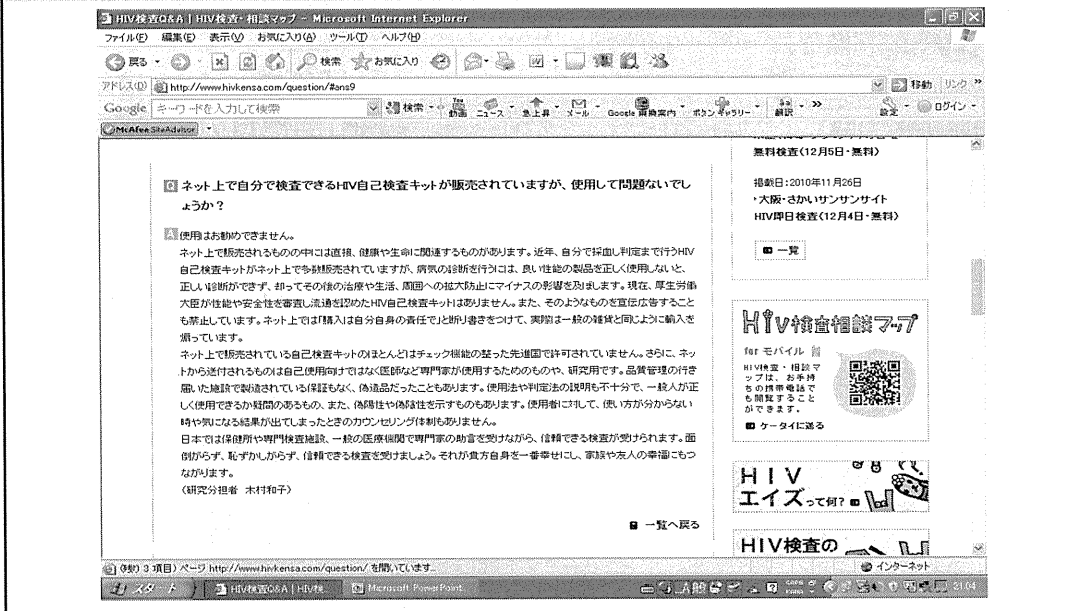


図6

ホームページ「HIV検査・相談マップ」 リンク用バナーページの追加

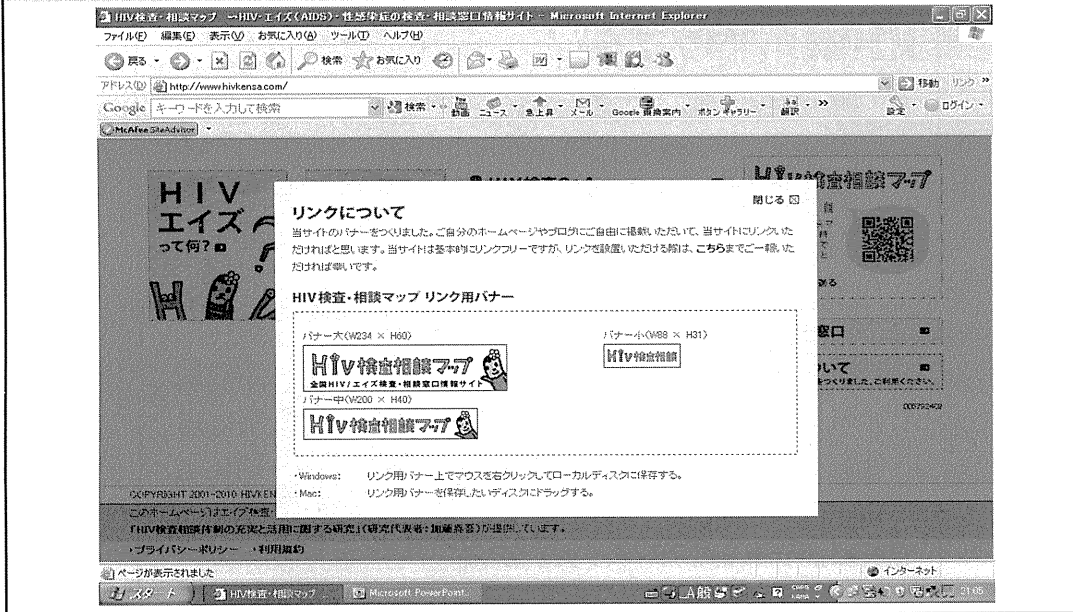


図7 ホームページ「HIV検査・相談マップ」
修正・追加箇所（2011年）

「検査イベント情報」
開催日の近い順に
掲載
終了日後、自動消去

掲載自治体を全国に
拡大（20県を追加）
青森県、岩手県、山形県、
宮城県、福島県、山梨県、
静岡県、三重県、岐阜県、
岡山県、島根県、山口県、
徳島県、香川県、高知県、
福岡県、大分県、宮崎県、
熊本県、鹿児島県

図8 ホームページ「HIV検査・相談マップ」
新規情報ページの掲載

HIV検査・相談 研修情報
(研修開催情報、研修資料)

民間クリニックでのHIV即日
検査 (パンフレット・様式集)

掲載情報の変更依頼および 検査イベント情報の掲載依頼
は、こちら (検査実施担当者の方)

図9

ホームページ「HIV検査・相談マップ」
 情報修正・検査イベント掲載・新規掲載依頼件数

＜情報修正依頼件数 419件＞

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
148	97	22	28	18	35	22	13	8	28

＜検査イベント情報掲載依頼件数 52件＞

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	4	7	3	1	0	2	16	17	1

＜新規掲載施設件数 27件＞

新潟県(9)、島根県(8)、宇都宮市、浜松市、和歌山市、徳島県三好保健所
 東京都多摩地区検査・相談室、尼崎市、姫路市、セントラルクリニック伊勢崎、
 川嶋泌尿器・皮膚科医院、中村クリニック

図10

ホームページ「HIV検査・相談マップ」
 情報修正・検査イベント掲載・新規掲載依頼件数

＜情報修正依頼件数 379件 ← 昨年391件＞

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
3	3	158	68	40	15	24	43	13	6	5	1

＜検査イベント情報掲載依頼件数 111件 ← 昨年51件＞

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	4	3	4	17	3	8	6	4	13	44	4

＜新規掲載施設件数 154施設 ← 昨年25施設＞

青森市 岩手県(9) 盛岡市 宮城県(7) 山形県(4) 茨城県(5) 群馬県(2) 町田市 山梨県(4) 静岡県(7) 岐阜県(7)
 岐阜市 三重県(8) 四日市市 和歌山県(1) 岡山県(9) 倉敷市 山口県(8) 下関市 徳島県(5) 高松市 高知県(5)
 福岡県(12) 大牟田市 久留米市 熊本県(10) 大分県(6) 大分市 宮崎県(8) 宮崎市 鹿児島県(14) 福島県(6)
 埼玉県HIV検査・相談室 操健康クリニック クリニック齋藤泌尿器科 新吉原診療所 薬院高橋皮膚科

図11

ホームページ「HIV検査・相談マップ」 アクセス解析項目 (PCサイト)

旧サイト (Access Analyzer4)	新サイト (Google Analytics)
<ul style="list-style-type: none"> ・トップページアクセス数 (アクセス数) (→アクセスカウンターと一致) ・新規ユーザーアクセス数 ・リポートユーザーアクセス数 ・検査種別(土日、即日等)アクセス数 ・地域別(東京、大阪、神奈川等)アクセス数 ・ページアクセス数(全ページ、詳細ページ) ・検索キーワード ・参照元 ・ユーザー環境 ・平均ページビュー数 ・平均サイト滞在時間 ・直帰率 ・アクセス地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・トップページアクセス数 (→アクセスカウンターと一致せず) ・新規ユーザーアクセス数 ・リポートユーザーアクセス数 <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> } セッション数 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>検索条件別(即日、土日等)アクセス数</u> ・<u>地域別(都道府県)アクセス数</u> ・ページアクセス数(全ページ、詳細ページ) ・検索キーワード ・参照元 ・ユーザー環境 ・平均ページビュー数 ・平均サイト滞在時間 ・直帰率 ・アクセス地域

図12

ホームページ「HIV検査・相談マップ」 アクセス解析項目 (携帯サイト)

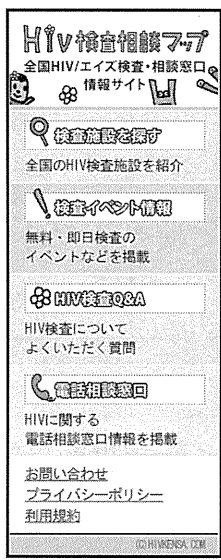
旧サイト (Access Analyzer4)	新サイト (Google Analytics 2010.6~)	
<ul style="list-style-type: none"> ・トップページアクセス数 (アクセス数) ・全ページアクセス数 (ただし、解析ソフトの不具合で全日のデータ揃わず) 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>トップページアクセス数 (アクセス数)</u> ・新規ユーザーアクセス数 ・リポートユーザーアクセス数 <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> } セッション数 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ページアクセス数(全ページ、詳細ページ) ・検索キーワード ・参照元 ・ユーザー環境 ・平均ページビュー数 ・平均サイト滞在時間 ・直帰率 ・アクセス地域 	 <p>The screenshot shows the mobile site interface with the following elements:</p> <ul style="list-style-type: none"> Header: HIV検査相談マップ, 全国HIV/エイズ検査・相談窓口, 情報サイト Search bar: 検索履歴を保存 Text: 全国のHIV検査施設を紹介 Event: 検査イベント情報 Text: 無料・即日検査のイベントなどを掲載 Section: HIV検査Q&A Text: HIV検査についてよくいただく質問 Section: 電話相談窓口 Text: HIVに関する電話相談窓口情報を掲載 Text: お問い合わせ, プライバシーポリシー, 利用規約 Footer: © HIVKENSA.COM

図13

ホームページ「HIV検査・相談マップ」
PCサイトトップページアクセス数 (2001～2011年)

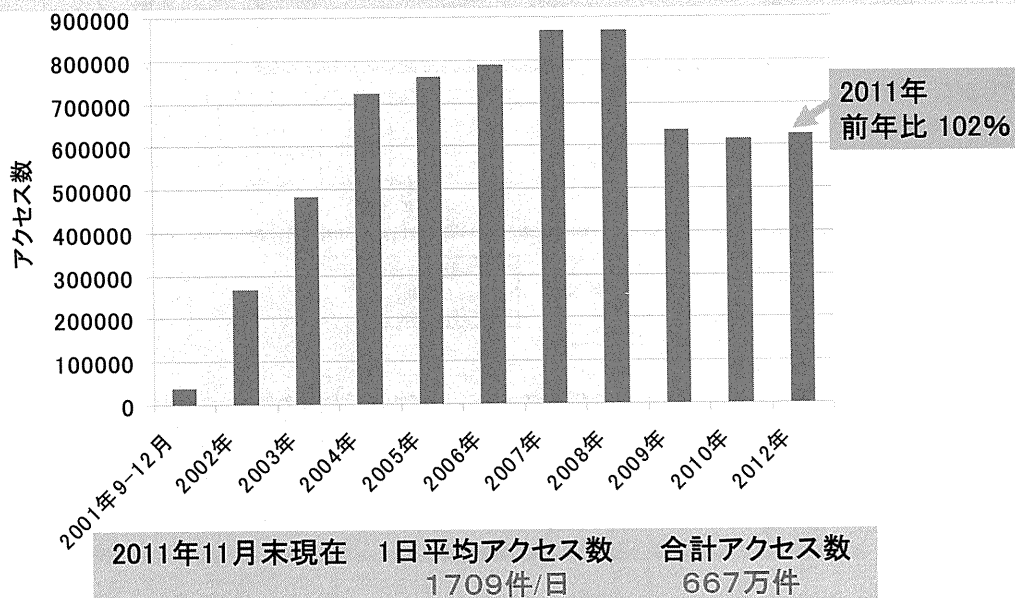
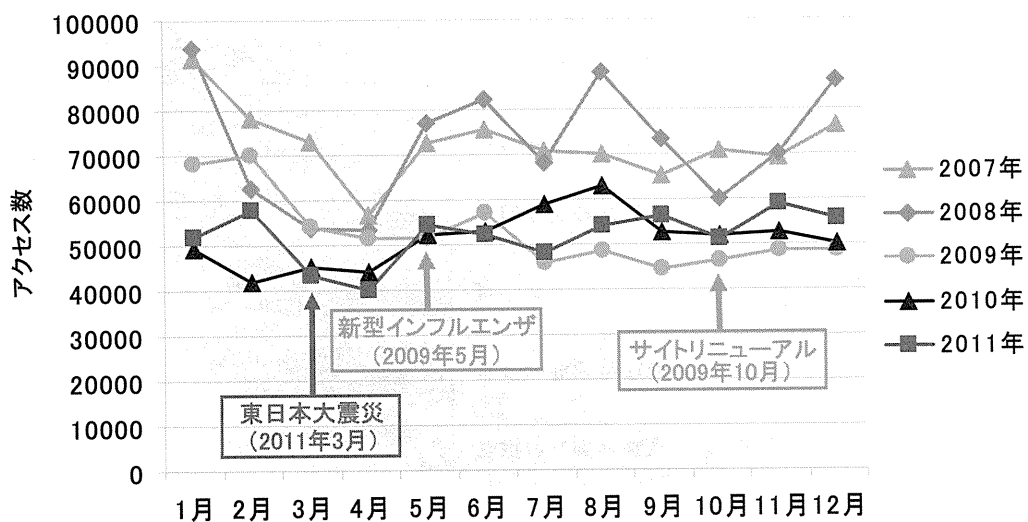


図14

ホームページ「HIV検査・相談マップ」
PCサイト 月別トップページアクセス数 (2007～2011年)



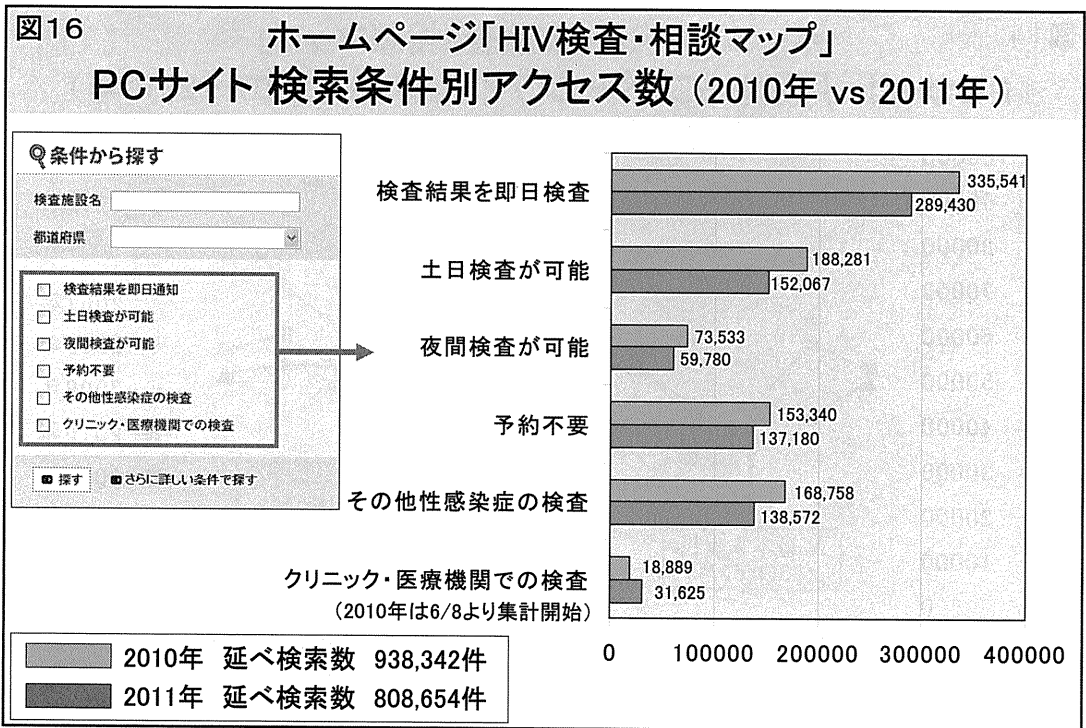
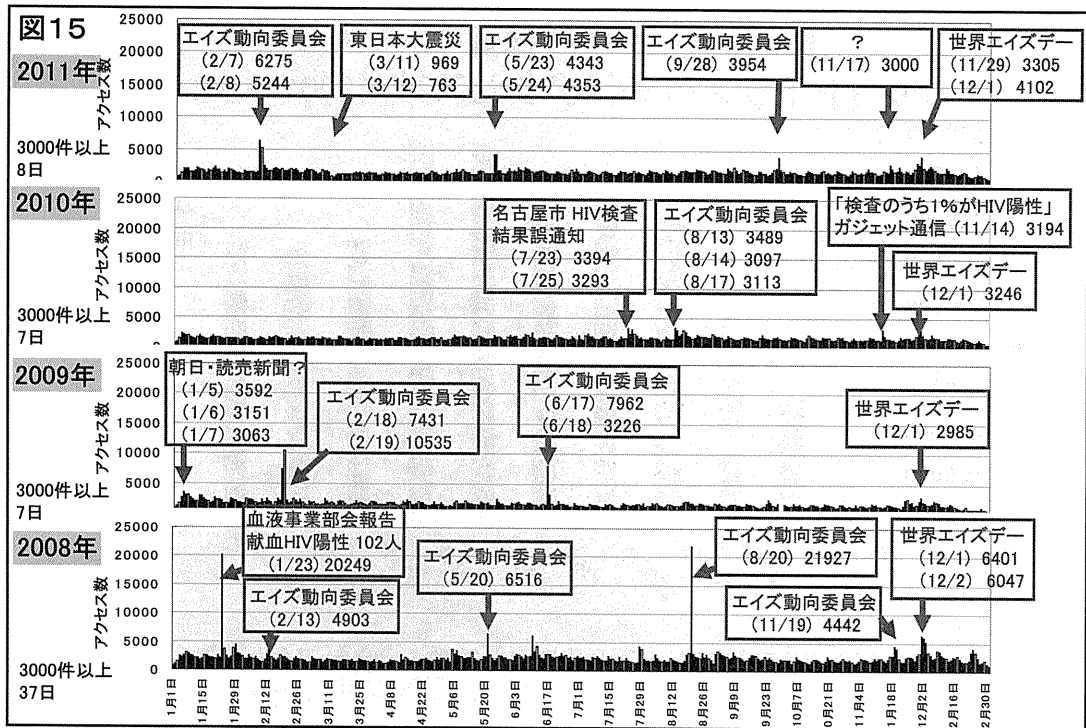


図17

ホームページ「HIV検査・相談マップ」
PCサイト 地域別アクセス数 (2010年 vs 2011年)

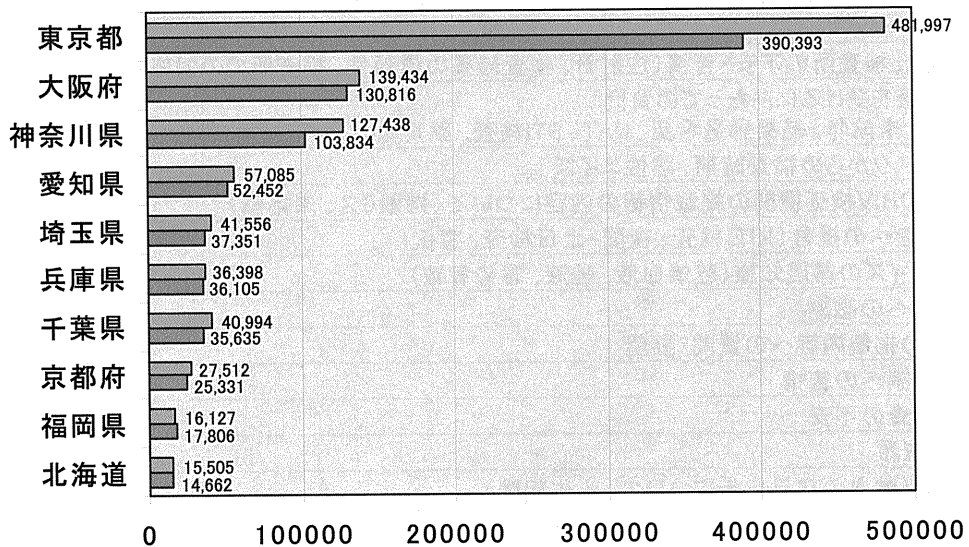


図18

ホームページ「HIV検査・相談マップ」
問い合わせ件数・内容 (2009年、2010年)

2010年 「HIV検査・相談マップへの」問い合わせ		44件
一般		
HIV検査を受けるにあたっての質問 (保険証、診断書、検査予約、NAT、結果紙、検査方法、費用、お酒)		11
検査所への不安・苦情(注射針、検査結果、検査所の体制、サブタイプP)		6
サイトの検査機関の掲載情報内容について(掲載ミス、未掲載)		6
リンク依頼・URL紹介		6
感染リスクからの検査時期、陰性エイズ		5
HIV/エイズの基礎知識(血液、オナホール、刺青、感染確率)		5
検査所への感謝		2
サイトの掲載内容への質問・要望		1
医療機関・大学		
電子カルテでのHIV検査結果の取り扱い		1
HIV検査啓発用のスライド提供依頼		1
2009年 「HIV検査・相談マップへの」問い合わせ		12件
一般		
検査所への不安・苦情(注射針、予約方法)		5
感染リスクからの検査時期、陰性エイズ		4
HIV検査を受けるにあたっての質問(検査時間)		1
サイトの検査機関の掲載情報内容について(掲載ミス)		1
サイトの掲載内容への質問・要望		1

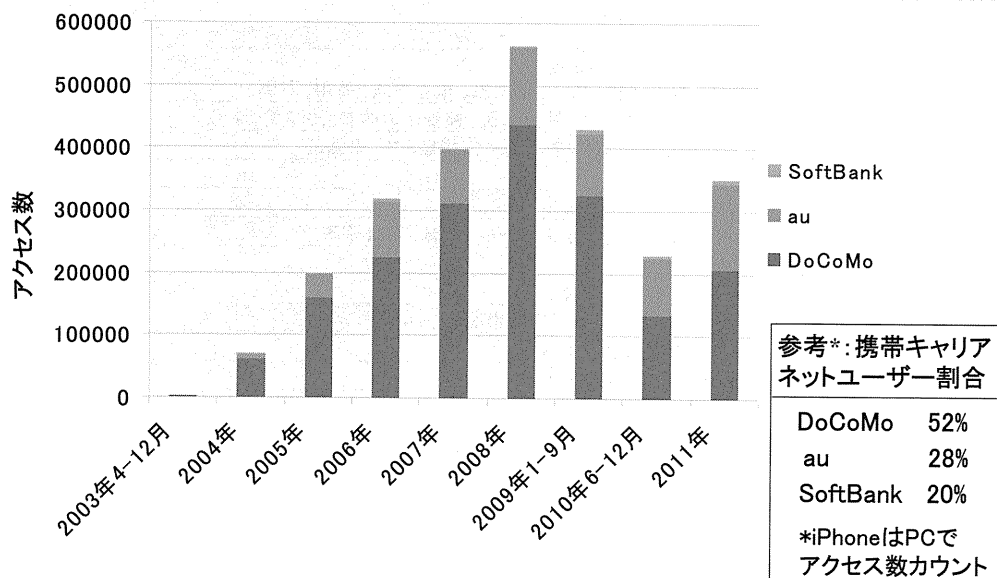
図19

ホームページ「HIV検査・相談マップ」
問い合わせ件数・内容 (2011年)

2011年 「HIV検査・相談マップへの」問い合わせ		44件
一般		
受検した検査所の不安・苦情(注射針、検査結果の信頼性、検査所での対応)	11	
HIV検査を受けるにあたっての質問 (地元、未成年、結果郵送希望、NAT、STI検査、薬)	7	
感染リスクからの検査時期、陰性エイズ	6	
サイトのHIV検査機関の掲載情報の内容について(掲載ミス、未掲載)	3	
HIV検査への提言(即日検査、夜間・土日検査、宣伝)	3	
HIV/エイズの基礎知識(乾燥血液、唾液、感染者数)	3	
検査所への感謝	3	
サイトの掲載内容への質問・要望	2	
電話相談への苦情	1	
郵送検査の不安	1	
リンク依頼	1	
その他(献血の自己申告について、人生相談)	2	
医療機関		
HIV感染血液の暴露時検査について	1	

図20

ホームページ「HIV検査・相談マップ」
携帯サイトアクセス数 (2003~2011年)



*http://memorva.jp/ranking/sales/mobile_share_japan_2011.php

図21

ホームページ「HIV検査・相談マップ」
携帯サイト 月別アクセス数 (2007～2011年)

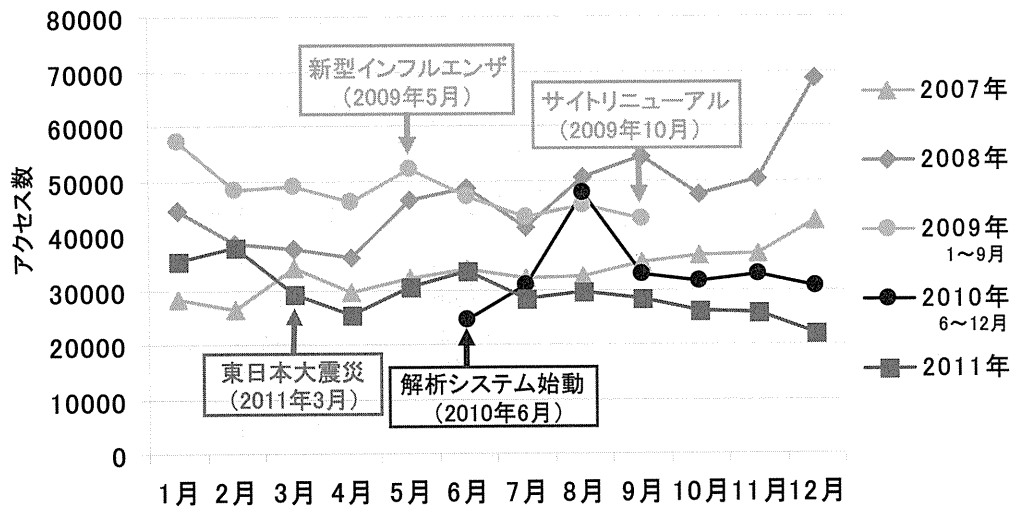


図22

ホームページ「HIV検査・相談マップ」
携帯サイトページビュー数 (2011年1月1日～12月31日)

1. /m/s/index.html
「検査施設を探す」ページ 208,157
2. /m/index.html?c=DoCoMo
ドコモユーザー向けトップページ 207,187
3. /m/q/index.html
「HIV検査Q&A」ページ 199,555
4. /m/index.html?c=KDDI
auユーザー向けトップページ 135,234
5. /m/e/index.html
「検査イベント情報」ページ 71,329

図23

ホームページ「HIV検査・相談マップ」
スマートフォンからのPCサイトへのアクセス状況

HIV検査・相談マップ	2011年	2010年	2009年10-12月
PC 訪問数	571,654	440,472	119,561
スマートフォンからのPC訪問数	146,385	31,700	2,439
スマートフォン/PC 割合	25.6%	7.2%	2.0%
スマートフォン所有率*	22.9%(2011.11) 14.8%(2011.4)	9.0%(2010.9)	unknown

* <http://i.impressrd.jp/e/2011/11/24/1174>

スマートフォンOS	2011年	2010年	2009年10-12月
iPhone	75,266	25,406	2,098
Android	61,198	3,478	47
iPad	5,520	1,108	—
iPod	4,105	1,418	102
BlackBerry	176	75	86
Windows	74	191	89
Windows Phone	29	—	—
SymbianOS	8	22	17
Nokia	6	—	—
Ezweb Device	1	—	—
NTT DoCoMo	1	—	—
Sony	1	2	—

9. 民間クリニックへの HIV 即日検査の導入支援および実施状況解析

佐野貴子 (神奈川県衛生研究所)	井戸田一朗 (しらかば診療所)
西大條文一 (同仁齋クリニック)	小林米幸 (小林国際クリニック)
赤枝恒雄 (赤枝六本木診療所)	尾上泰彦 (宮本町中央診療所)
古林敬一 (そねざき古林診療所)	大里和久 (大里クリニック)
尾関全彦 (尾関皮膚泌尿器科)	岩澤晶彦 (岩澤クリニック)
保科眞二 (保科医院)	上村茂仁 (ウィメンズクリニックかみむら)
吉尾 弘 (吉尾産婦人科医院)	上村 哲 (上村病院)
江畑貴文 (文化村通りクリニック)	多和田俊保 (たわだ泌尿器科)
立山啓悦 (ひろクリニック)	山中 晃 (新宿東口クリニック)
山口眞澄 (新宿山の手クリニック)	大原宏樹 (池袋山の手クリニック)
鷺山和幸 (さぎやま泌尿器クリニック)	谷口 恭 (太融寺町谷口医院)
根岸昌功 (ねぎし内科診療所)	白川裕一 (八重洲山の手クリニック)
西原 仁 (関内マリンクリニック)	清滝修二 (セントラルクリニック伊勢崎)
川嶋敏文 (川嶋泌尿器・皮膚科医院)	中村幸生 (中村クリニック)
新井律夫 (新井医院)	操 裕 (操健康クリニック)
齋藤敏典 (クリニック齋藤泌尿器科)	小田島純 (新吉原診療所)
高橋雅弘 (薬院高橋皮ふ科クリニック)	澤畑一樹 (三菱化学 BCL)
川畑拓也 (大阪府立公衆衛生研究所)	千々和勝己 (福岡県保健環境研究所)
近藤真規子 (神奈川県衛生研究所)	須藤弘二 (慶応義塾大学医学部)
加藤真吾 (慶応義塾大学医学部)	今井光信 (田園調布学園大学)

研究要旨

HIV 検査希望者にとって利便性が高い検査相談体制の一つである「即日検査」について、民間クリニックへの導入支援を行うとともに、実施施設における検査数、陽性数等の動向を調査した。

2009年～2011年で8箇所が新たに研究協力クリニックとなり、合計32箇所のクリニックについて実施動向の調査を行った。即日検査数は、2009年から2011年でほぼ横ばいであり、最も件数が多かった2008年と比較すると2011年は18%減となり、HIV検査希望者数の減少傾向が続いていた。また、陽性数は2009年、2010年は検査数に対して陽性数は増加傾向であったが、2011年は陽性数も減少し、陽性率も2008年レベルに低下した。

クリニックにおける確認検査の陽性例の結果受け取り状況や保健所への届出等のフォロー状況については、陽性例 302 例中 286 例 (95%) が確認検査結果の受け取りに来ており、また、確認検査を受け取った人の 91%は、その後の経過もフォローされていた。HIV 検査によって多くの陽性者を早期の HIV 治療に結びつけたことは、HIV 検査提供者側としての役割を十分に果たしていると思われる。

民間クリニックは有料であるにも関わらず、医療機関という安心感や場所・受付時間帯の利便性等から、多くの検査希望者が即日検査を受検している。また、STI クリニックは他の性感染症の罹患者が多く来院することから、HIV の早期発見・早期治療に繋げるた

めには、民間クリニックでの即日検査の実施は非常に効果的であると思われる。

A. 目的

より効果的な HIV スクリーニング検査体制を構築することを目的として、HIV 検査希望者にとって利便性が高い検査相談体制の一つである「HIV 即日検査」について、民間クリニックへの導入支援を行うとともに、実施施設における検査数、陽性数等の動向を解析した。

B. 方法

HIV 検査に理解のある民間クリニックと連携して即日検査の導入・実施支援を行った。

新規の研究協力クリニックには、即日検査の説明や迅速検査キットのデモンストレーション等をクリニックに訪問して実地で研修を行った。また、ホームページ「HIV 検査・相談マップ」に掲載するとともに、即日検査の判定保留例について確認検査等の支援を行った。研究協力クリニックには検査数等の報告を依頼し、年次動向を調査した。また、確認検査の陽性例の結果受け取り状況や保健所への届出等のフォロー状況、また、使用している検査試薬や検査費用等を把握するため、HIV 検査に関するアンケート調査を実施した。

C. 結果

2010年に4箇所、2011年に4箇所、計8箇所のクリニック（宮城1箇所、群馬1箇所、埼玉1箇所、東京1箇所、神奈川1箇所、岐阜1箇所、大阪1箇所、福岡1箇所）に即日検査の導入支援を実施し、合計32箇所（札幌2箇所、宮城1箇所、群馬1箇所、埼玉1箇所、東京12箇所、神奈川4箇所、岐阜1箇所、大阪4箇所、愛知1箇所、京都1箇所、岡山1箇所、福岡2箇所、沖縄1箇所）が即日検査の研究協力クリニックとなった（図1-3）。即日検査数は、2009年は

19,418件、2010年は17,348件、2011年は18,267件とほぼ横ばいであり、最も件数が多かった2008年と比較すると2011年は18%減となった（図4）。陽性数は、2009年は105件（陽性率0.54%）、2010年は108件（0.62%）、2011年は89件（陽性率0.49%）であった。2009年と2010年は2008年とほぼ横ばいであったが、2011年は前年度を下回り、陽性率は2008年とほぼ同率となった。偽陽性数は2009年は43件（偽陽性率0.2%）、2010年は63件（偽陽性率0.37%）、54件（偽陽性率0.30%）であった。

2009年から2011年の陽性302例の属性は、性別は男性が299例、女性が3例であり、国籍は日本国籍284例（男性283例、女性1例）、外国籍16例（男性14例、女性2例）、国籍不明2例（男性）であった（図5-7）。

確認検査の陽性例の結果受け取り状況や保健所への届出状況等についての HIV 検査に関するアンケート調査結果から、2009年から2011年の陽性302例中、286例（95%）が確認検査の結果を受け取っていた。このうち108例は自施設で経過観察、147例は紹介先拠点病院に受診したことが確認されており、合わせて255例（91%）については結果通知後の経過が把握されていた。また、保健所への届出は、261例（86%）が自施設より届出を行っていた。

検査数および陽性数を、「STIクリニック」と、女性の感染不安者やCSWの定期検診が中心の「婦人科クリニック」で分けて解析したところ、STIクリニックでの陽性率は2009年は0.6%、2010年は0.68%、2011年は0.55%であった。性別で見ると、男性の陽性率は2009年は0.80%、2010年は0.90%、2011年は0.70%であり、女性は2009年は0.02%、2010年は0%、2011年は0.05%であった。婦人科クリニック

での陽性はなかった（図8-10）。

過去4年間の検査数・陽性数の推移を見たところ、3年分のデータが揃っているクリニック23箇所での検査数は年々減少し、2011年の検査数は、最も検査数が多かった2008年と比較して25%減、陽性数も83%減となった。また、東京都下のSTIクリニック9箇所で見ると、2008年と比較し、検査数は21%減、陽性数は14%減となった（図5）。

2011年に実施したHIV検査に関するアンケート調査の回答の詳細をまとめた。保健所への発生動向調査の届出については、届出を行っているクリニックが24箇所、紹介先に届出を依頼しているのが7箇所、未回答1箇所であった（図12）。HIV確認検査陽性者のフォロー状況については、拠点病院へ紹介が27箇所、自施設で経過観察が2箇所、状態が良い場合は自施設で経過観察し、症状が悪化した場合は拠点病院へ紹介が3箇所であった。HIV迅速検査に使用しているHIV検査試薬は、ダイナスクリーン・HIV-1/2が25箇所、エスプライン HIV Ag/Abが1箇所、両方が6箇所であった。両方と答えたクリニックでは、感染リスクからの期間によって使い分けているとの回答が多かった（図13）。HIV検査費用については、HIV抗体検査は2,100円～8,400円（中央値5,000円）、HIV抗原抗体検査は3,000円～10,500円（中央値6,300円）であった（図14）。また、迅速検査を実施する場合を聞いたところ（複数回答可）、患者さんが希望した時に実施するクリニックが30箇所、また、性感染症を診断した時に迅速検査を実施するクリニックも9箇所あった（図15）。

D. 考察

本研究班の3箇年において、8箇所の新規クリニックが研究協カクリニックとして加わった。即日検査数は、2009年から2011年でほぼ横ばいであり、最も件数が多かった2008年と比較すると2011年は18%減となり、HIV検査希

望者数の減少傾向が続いている。また、陽性数は2009年、2010年は検査数に対して陽性数は増加傾向であったが、2011年は陽性数も減少し、結果、陽性率は2008年とほぼ同率となった。

STIクリニックのみの集計では、2010年度は男性の陽性率は0.90%であったが、2011年度は0.70%と0.2ポイント減少し、さらに東京都下のSTIクリニック9箇所では2010年度は陽性率が0.95%であったのに対し、2011年度は0.66%と0.29ポイントの減少となっている。検査数減少の要因としては、HIV/AIDSに関する報道が少なくなっており、HIVの感染不安の少ない者が受検行動に結びつかないことが要因の一つと考えられた。一方、2010年度までは陽性数が増加しており、その要因としては、感染不安の強い者にとって検査定員に余裕ができたことから、受検し易くなったことが一因と考えていた。しかし2011年度は、検査数とともに陽性数も減少したことから、新規陽性者数の増加が落ち着いたのか、あるいは感染リスクについて自認する者が少なくなっているのか要因がつかめず、今後の動向を見ていきたい。偽陽性率は、0.3%前後で推移しており、以前の即日検査では0.5～1%前後であったが、近年では検査試薬の改良によるものか、検査提供側の慣れによるものか、通常の検査試薬とほぼ同等の偽陽性率となっている。

クリニックにおける確認検査の陽性例の結果受け取り状況や保健所への届出等のフォロー状況については、おおむね良好と思われた。確認検査を受け取った人のうち91%は、その後の経過もフォローされており、HIV検査によって早期のHIV治療に結びついたことは、HIV検査提供側の役割を十分に果たしていると思われる。

クリニックで使用している迅速検査試薬については、2010年1月よりエスプライン HIV Ag/Abも使用可能となったことから、2011年度にその使用状況について調査した。結果、

ダイナスクリーン・HIV-1/2 が 25 箇所と多かったが、エスプライン HIV Ag/Ab を用いているクリニックも 7 箇所と増加していた。エスプライン HIV Ag/Ab を使用しているクリニックについては、受検者の感染リスクの時期からダイナスクリーン・HIV-1/2 との使い分けを行っているかと答えた所も多かった。二つの迅速検査試薬の陽転時期の差は 5 日～1 週間程度であること、また、感染リスクから 3 ヶ月以内に検査を実施し陰性であった場合は、3 ヶ月以降の再検査を受検者に依頼していただくことを確認する必要があると思われた。

民間クリニックは有料にも関わらず多くの受検者が即日検査を受けており、医療機関であることの安心感や場所・受付時間帯の利便性等から、検査希望者にとって検査を受けやすい機関の一つとなっている。STI クリニックは他の性感染症に罹患している人も多く来院することから、HIV の早期発見・早期ケアに繋げるためには医療機関における即日検査の導入は非常に効果的であると思われる。今後さらに STI クリニックとの連携を強化し、即日検査の導入を積極的に行っていきたい。

E. 研究発表

論文発表

1. Takako Shima-Sano, Rika Yamada, Kazuyo Sekita, Raleigh W. Hankins, Hiromasa Hori, Hiroshi Seto, Koji Sudo, Makiko Kondo, Kazuo Kawahara, Yuki Tsukahara, Noriyuki Inaba, Shingo Kato, and Mitsunobu Imai. (2010) A Human Immunodeficiency Virus Screening Algorithm to Address the High Rate of False-Positive Results in Pregnant Women in Japan. PLoS ONE 5(2): e9382.
2. 佐野(嶋)貴子, 山田里佳, 谷口晴記, 近藤真規子, 今井光信, 塚原優己: 妊娠と HIV 感染. 臨床検査. 53(4):467-471, 2009.

3. 佐野(嶋)貴子: 保健所等 HIV 検査機関における HIV 即日検査の試みとその効果の検証およびホームページ「HIV 検査・相談マップ」による HIV 検査の最新情報の提供. 日本エイズ学会誌. 11(3): 223-230, 2009.

学会発表

1. 佐野貴子, 近藤真規子, 須藤弘二, 根岸昌功, 山中 晃, 井戸田一朗, 今井光信, 加藤真吾: HIV 迅速検査試薬の検討および即日検査への応用. 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 23 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京)
2. 佐野貴子, 西大條文一, 井戸田一朗, 須藤弘二, 加藤真吾, 近藤真規子, 今井光信: 抗 HIV 抗体量により感染時期を推測するための検査法の検討. 第 23 回日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 21 年 11 月 26 日-28 日, 名古屋)

